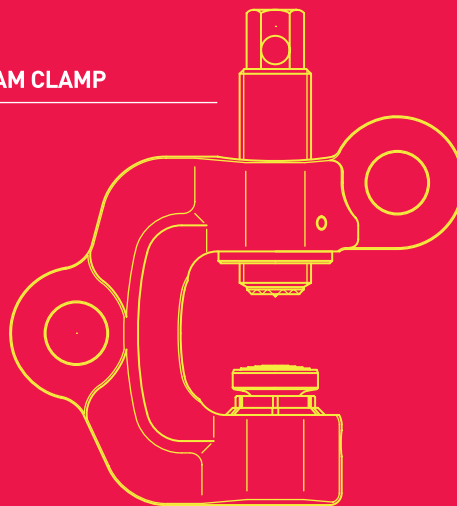




第61期 事業のご報告

2020年3月16日 ▶ 2021年3月15日

SCREW CAM CLAMP



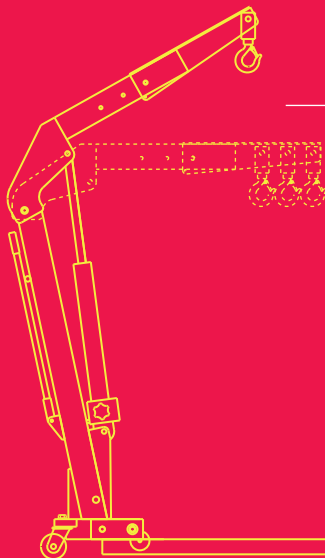
We, as SUPER TOOL, manufacture a wide range of products from general tools to specialized tools that are used in a variety of scenes.

Based on our unwavering belief, considering the usage versatility, the product efficiency, and the pursuit of safety, we continue development and production activities to satisfy different needs of the customers.

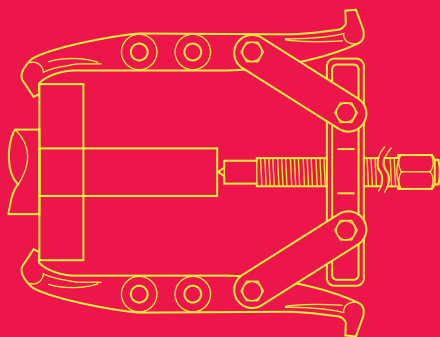


ANGLE WRENCH

MULTI CRANE



RATCHET WRENCH



GEAR PULLER

株式会社スーパーツール

証券コード: 5990

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長

灰野 尚己

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。
ここに2020年3月16日から2021年3月15日までの第61期の事業概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年4月の緊急事態宣言発令などにより経済活動が抑制され、企業収益は大幅な減少が継続したため、雇用情勢の弱含みが顕著となり設備投資も減少傾向で推移いたしました。その後、個人消費や生産に持ち直しの動きがみられるなど、一部に改善の兆しもありましたが、再び感染拡大傾向に転じ、今年1月、2度目の緊急事態宣言発令などにより景気は厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況のなか、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として濃厚接触回避などの徹底した取り組みを継続し、事業活動を行ってまいりました。金属製品事業につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限されるなか、効率的な営業活動に取り組むとともに、情報収集に努め、顧客ニーズに合致した販売企画により、積極的に販売に努めるとともにブランドの認知度向上などにも取り組んでまいりました。また、開発型企業として、多様化する顧客ニーズに対応するため、社内提案制度などを活用し、既存製品から派生した製品なども含め、あらゆる産業に対応する新製品の開発に注力しながら、人員配置見直しなどによる効率的な生産体制の構築や、最適な事業体制を目指した組織改革などを推し進め、生産効率向上、コストダウンを目指した設備の導入や加工方法の改善なども行い、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境となっておりますが、設備投資案件の受注を軸に、環境関連事業への後押しが期待される脱炭素社会実現に向けた仕組みや、FIT(固定価格買取制度)終了後の事業環境の変化に対応すべく、商材の拡充にも注力し、売上確保に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は7,305百万円(前期8,838百万円、17.3%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は322百万円(同554百万円、41.8%減)となりました。

以上の業績内容を踏まえ、当期の配当金につきましては、2021年6月7日に1株につき30円をお支払いさせていただきました。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金30円と合わせ、1株当たり60円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒格別のご理解をいただき、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2021年6月



金属製品事業



クイックワイドモンキレンチ

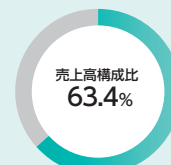
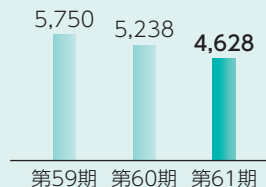
国内販売において、作業工具の分野では、豊富なラインナップとユーザー視点で付加された早送り機構により作業効率に優れたクイックワイドモンキレンチなどのレンチ類や配管工具類、産業機器の分野では、作業性と安全性を兼ね備えた吊クランプ類や、足をコの字タイプとし、さらにコンパクトさを追求したマルチクレーンなどのクレーン類など、多彩な製品群と新製品を軸に工夫を凝らした販促ツールなどによる商品提案や、効果的な販売企画などを行い、売上確保に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、国内経済では、設備投資の減少傾向などにより、特に工作機械に使用される治工具類の販売が厳しい状況となったこともあり、総じて幅広い産業で使用される当社製品において販売が伸び悩みました。

海外市場につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限され、特に当社の主要市場である韓国においても、段階的に部分的な都市封鎖が行われるなど、多大な影響を受け、非常に厳しい状況で推移しました。このような状況のなか、安全性と日本企業の製品であることをアピールポイントとし、ブランドの認知度とイメージ向上を目指した新たなプロモーション施策の実施や、販売力強化のための組織体制の構築なども行い売上確保に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、販売が伸び悩みました。

これらの結果、当事業の売上高は4,628百万円(前期5,238百万円、11.7%減)、セグメント利益は863百万円(同1,056百万円、18.3%減)となりました。

売上高

(単位：百万円)



主要製品

作業工具：

レンチ、スパナ、プライヤ類・
配管工具類・プーラ類

産業機器：

治工具類・吊クランプ類・
クレーン類・マグネット類



環境関連事業



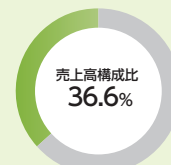
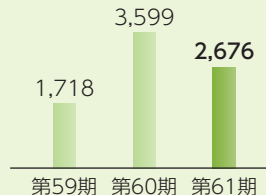
水上太陽光発電

継続する厳しい事業環境に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資も減少がみられるなか、より筋肉質な事業体制を構築すべく、設置コストや運用面でメリットが多い水上設置型メガソーラーなどの大口の設備投資案件やセカンドリー案件の受注獲得に注力してまいりました。また、FIT終了後を見据え、FITに頼らない「非FIT」の筆頭事業モデルとされる自家消費型太陽光発電の模索や太陽光関連部材のラインナップ拡充など、建設から販売まで幅広く展開し、売上確保に努めてまいりました。また、売電部門では、大阪府南河内郡河南町及び柏原市に設置しています3か所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当事業の売上高は2,676百万円(前期3,599百万円、25.6%減)、セグメント利益は92百万円(同278百万円、66.7%減)となりました。

売上高

(単位：百万円)



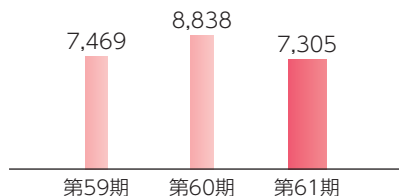
主要事業

太陽電池モジュール及び関連機器の販売、電気工事業、管工事業、太陽光発電システムの設計・施工、売電事業、太陽光発電所販売など

業績ハイライト

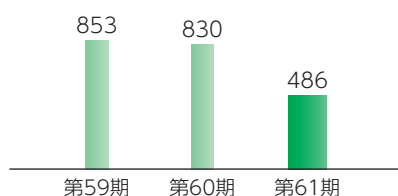
売上高

(単位：百万円)



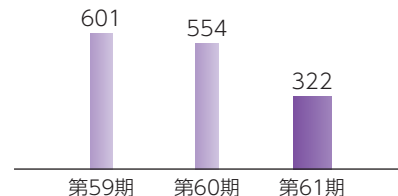
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末 2021年3月15日現在	前期末 2020年3月15日現在
資産の部		
POINT 01 流動資産	8,565	6,451
POINT 02 固定資産	6,286	5,815
有形固定資産	5,800	5,470
無形固定資産	59	12
投資その他の資産	426	332
資産合計	14,852	12,266

POINT 01 流動資産 2,113百万円増加

前渡金の増加1,182百万円、現金及び預金の増加637百万円、受取手形及び売掛金の増加620百万円、商品及び製品の減少255百万円等により、2,113百万円増加しました。

POINT 02 固定資産 471百万円増加

土地の増加411百万円等により471百万円増加しました。

POINT 03 負債合計 2,349百万円増加

短期借入金の増加1,520百万円、支払手形及び買掛金の増加590百万円、未払法人税等の減少86百万円、長期借入金の増加245百万円等により、2,349百万円増加しました。

(単位：百万円)

科目	当期末 2021年3月15日現在	前期末 2020年3月15日現在
負債の部		
流動負債	3,863	1,756
固定負債	1,750	1,507
負債合計	5,613	3,263
純資産の部		
株主資本	6,780	6,642
資本金	1,902	1,902
資本剰余金	837	839
利益剰余金	4,154	3,985
自己株式	△114	△84
その他の包括利益累計額	2,457	2,359
その他有価証券評価差額金	139	74
繰延ヘッジ損益	1	△30
土地再評価差額金	2,317	2,317
為替換算調整勘定	△0	△1
純資産合計	9,238	9,002
負債純資産合計	14,852	12,266

	第60期	第61期
自己資本比率	73.4%	62.2%
1株当たり当期純利益	270円72銭	158円15銭

配当金推移

1株当たり配当金推移 (円)

	第58期	第59期	第60期	第61期
年間	90	100	90	60
中間	45	45	45	30
期末	45	55	45	30

*当社は、2018年9月16日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第58期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり配当金」を算定しております。また、第59期の期末配当について、1株当たり10円の記念配当を実施いたしました。これにより、第59期の期末配当金は55円（普通配当45円、記念配当10円）となっております。



連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2020年3月16日から 2021年3月15日まで	2019年3月16日から 2020年3月15日まで
POINT 04 売上高	7,305	8,838
売上原価	5,430	6,487
売上総利益	1,874	2,350
販売費及び一般管理費	1,315	1,425
営業利益	559	925
営業外収益	24	13
POINT 05 営業外費用	97	108
経常利益	486	830
特別利益	—	0
特別損失	5	0
税金等調整前当期純利益	481	829
法人税、住民税及び事業税	198	317
法人税等調整額	△ 40	△ 41
法人税等合計	158	275
当期純利益	322	554
親会社株主に帰属する当期純利益	322	554

POINT 04 売上高

前期に比べ1,533百万円減少しました。セグメント別では金属製品事業は610百万円減少、環境関連事業では922百万円減少しました。

POINT 05 経常利益

効率的な事業活動に取り組み、利益確保に努めましたが、売上高の減少により343百万円減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	2020年3月16日から 2021年3月15日まで	2019年3月16日から 2020年3月15日まで
POINT 06 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 414	△ 10
POINT 07 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 497	△ 133
POINT 08 財務活動による キャッシュ・フロー	1,545	△ 827
現金及び現金同等物に 係る換算差額	4	△ 5
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	637	△ 976
現金及び現金同等物の 期首残高	1,478	2,454
現金及び現金同等物の 期末残高	2,116	1,478

POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の増加590百万円、税金等調整前当期純利益481百万円、たな卸資産の減少331百万円等により資金の増加がありました。前渡金の増加1,182百万円、売上債権の増加620百万円等により414百万円資金が減少となりました。

POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出441百万円及び無形固定資産の取得による支出48百万円等により、497百万円資金が減少となりました。

POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加1,520百万円、長期借入金による収入400百万円、長期借入金の返済による支出170百万円及び配当金の支払額153百万円等により1,545百万円資金が増加となりました。

TOPICS 01

大型機械で使用するワークやクランプのサポートに最適 「大型機用スクリュースupportロングストローク型」

スクリュースupportは、工作機械でワーク（加工対象物）を加工する際にワークを固定するために下から支える（サポートする）治工具類の製品です。当社は、この度、大型機械で使用するスクリュースupportを新発売しました。特徴は、大型の加工物用にロングストロークとし、それ故、製品自体が大きくなっていますが、本体にアルミニウムを採用した軽量化や、特殊なねじ機構を使用した早送り機能、別売のジョイントサポートを継ぎ足すことで、より大きな機械やワークに使用可能とするなど、ユーザー視点に立った機能により、作業効率アップが期待できます。



TOPICS 02

機能性とブランド認知度向上を目指し 総合カタログを大幅リニューアル

この度当社製品の総合カタログを大幅リニューアルいたしました。

新カタログは内容を刷新し、専門性の高い当社製品において、製品の機能・特徴の情報が優先されるため、アイコンを活用し、索引性、正確性、適切な情報量により、顧客の課題を短時間で解決できるよう機能的なものとなりました。また、表紙には、ブランドの認知度向上を目指し統一したロゴとコーポレートカラーの赤をベースに工具の画像を配し、一目で作業工具メーカースーパーツールのカタログと認知していただけるデザインとしました。





会社の概況 (2021年3月15日現在)

設立	1960年12月10日
資本金	1,902百万円
本社・工場	大阪府堺市中区見野山158番地
支店	大阪支店(大阪府堺市) 東京支店(東京都品川区) 名古屋支店(名古屋市中区)
営業所	札幌営業所(札幌市白石区) 仙台営業所(仙台市若林区) 新潟営業所(新潟市東区) 北関東営業所(さいたま市見沼区) 広島営業所(広島市西区) 福岡営業所(福岡市博多区)
物流センター	東部物流センター(さいたま市見沼区)
子会社	株式会社スーパーツールECO(本社:大阪府堺市) SUPER TOOL KOREA CO., LTD.(韓国ソウル市)

役員 (2021年6月4日現在)

代表取締役社長	平野 量夫
取締役	田中 穰
取締役	小中 涉
社外取締役	赫 高規
取締役等委員	河村 信広
社外取締役等委員	田中 豪
社外取締役等委員	深堀 知子



株式の状況 (2021年3月15日現在)

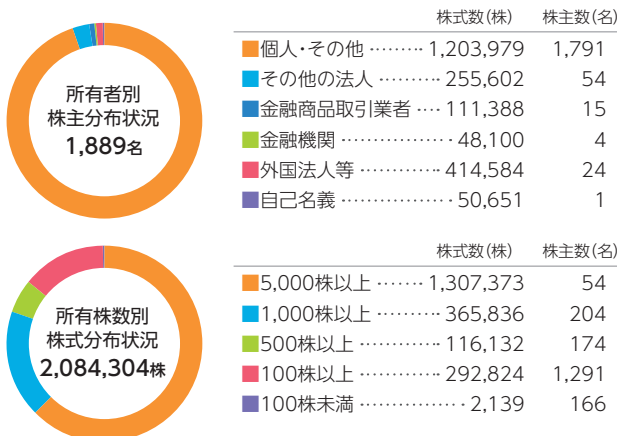
発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式総数	2,084,304株 (自己株式数50,651株を含む)
1単元の株式の数	100株
株主数	1,889名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ホライズン株式会社	163	8.03
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD-SINGAPORE BRANCH PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8221-563114	119	5.89
NIHON GLOBAL GROWTH PARTNERS LLC	104	5.13
BANK JULIUS BAER SINGAPORE INDIVIDUAL PORTFOLIO NO. SG06922000-02	88	4.32
SMBC日興証券株式会社	69	3.39
竈 利英	45	2.23
SHIGETA MITSUTOKI	44	2.18
吉川 明	35	1.75
株式会社池田泉州銀行	34	1.67
竈 圭人	29	1.46

※ 持株比率は自己株式 (50,651株) を控除して算出しております。

株主・株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月15日
中間配当金 受領株主確定日	9月15日
定時株主総会	毎年6月（事業年度末日の翌日から3ヵ月以内）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.supertool.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社スーパーツール

〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地
TEL (072) 236-5521(代表)

ホームページ
のご案内

<https://www.supertool.co.jp>

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、製品情報などさまざまな情報をご提供しています。

スーパーツール

検索



IR情報



製品情報



カテゴリや目的別に詳しい製品情報を見ることができます。またピックアップ製品としてスーパーツールがおすすめする新製品等をご紹介します。

動画で見るツール使用法



チラシ等のPDFや使用例の動画をご用意しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。